

議案第1号 令和4年度 事業報告（案）について

令和4年度事業報告

1. 令和4年度の事業実績

金額の単位：千円

区分	項目	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
請負	受託件数	2,041	1,984	57
	延日人員	17,777	18,338	▲ 561
	契約金額	108,902	104,908	3,994
派遣	受託件数	322	313	9
	延日人員	10,279	10,212	67
	契約金額	50,555	50,029	526
合計	受託件数	2,363	2,297	66
	延日人員	28,056	28,550	▲ 494
	契約金額	159,457	154,937	4,520
派遣事業等受託収益額		4,038	3,807	231

- ・令和4年度の事業実績は、コロナ禍の影響を受ける中、契約高は1億5,900万円と、令和4年度目標の1億5,000万円以上を達成することが出来ました。
- ・請負契約は1億900万円と全体としては前年度実績を上回りましたが、公共部門で「夜間管理業務とペットボトル圧縮業務」の契約解除の影響を受け、対前年度を下回りました。また民間企業部門は、新規受注を含め安定的な契約が維持出来たことにより前年度実績を上回りましたが、個人家庭は昨年実績を下回る結果となりました。
- ・一方派遣契約は、一部業務が請負契約から派遣業務に切り替わったことにより、前年度実績を上回る結果となりました。なお派遣契約高の内、4,038千円を令和4年度決算における収支計算書の「労働者派遣事業等受託収益」として計上しています。

2. 主な事業活動

(1) 理事会活動

- ・理事会については9回開催し、事業運営の進捗度合いの確認をはじめ、直面する課題への対応について意思決定を図ってきました。特に各種委員会活動は、担当理事を中心に企画立案を行い、具体的活動の取り組みを進めました。

(2) 安全就業への取り組み

- ・「安全は全てに優先する」という基本理念の下、令和4年度安全標語「気を抜くな 慣れた仕事も 最後まで」を安全スローガンとして、「安全パトロール」や「安全つうしん」発行により安全啓発活動を展開しました。しかしながら傷害事故1件、賠償責任事故4件の計5件の事故が発生しました。
- ・他シルバーで発生した剪定作業中における死亡事故について、滋賀県シルバー人材センター連合会主催の安全委員会に、理事をはじめ関係会員と共に参画し、改めて災害防止に向けた取り組みを確認しました。
- ・令和5年3月に開催する予定であった「安全大会」を、コロナの感染動向を踏まえ、令和5年4月11日に延期して開催し、安全に対するシルバー人材センターの基本的取り組み方針の確認と、会員の安全意識高揚を図りました。

(3) 会員拡大の取り組み

- ・新規会員勧誘に向けて理事、職員全員での取り組みを行ってきましたが、令和4年度末会員総数は314名と、令和3年度末会員329名から▲15名の減少となりました。新規入会会員は44名、退会会員は59名となり、「会員数340名以上安定的達成」には届きませんでした。
- ・最近の傾向としては、特に男性は加入時の年齢が70歳前後となってきています。こうした背景には、日本の若年労働者の人口減少に伴い、高年齢者雇用安定法に基づき、企業においては65歳までの雇用確保が義務付けられ、さらに法改正により70歳までの就業機会の確保が努力義務として求められていることがあると考えられます。
- ・会員拡大の取り組み方策として、「いきいき相談会」として毎月第2、第4火曜日に、シルバー人材センターの紹介と仕事内容の説明会を定期的で開催してきました。また「いきいき相談会」のチラシは、年間5回町内全戸に配布しました。
- ・また愛荘町シルバー人材センターホームページで「Web入会システム」を構築していますが、webを通じての会員入会は2件、仕事の受注はゼロと低調で推移しており、デジタル化の推進と併せ時代背景の変化を踏まえた対応策を講じていく必要があります。

(4) 就業機会・就業拡大への取り組み

- ・新規入会者に対し「会員講習会」を開催し、愛荘町シルバーの会員としての基礎知識と活動内容について理解頂く取り組みを行うとともに、可能な限り希望される職種とマッチングできる仕事の紹介に努めました。
- ・会員拡大と新規受注拡大を目指し、愛荘町商工会と連携を深める取り組みにも着手しました。

- ・「剪定」業務において、過去3年間にご契約頂いたお客さまに対し次年度の発注確認を行い、お客さまの確保に向けた取り組みを行いました。

(5) シルバー人材センターのPR活動

- ・愛荘町シルバー人材センターの様々な活動や取り組みについて、町民をはじめ各企業にご理解頂くことと、新規会員募集や新規業務の受注拡大に繋がるように、広報誌「シルバーあいしょう」を年2回発行しました。

(6) 会員相互の親睦と健康増進活動の取り組み

- ・会員相互の交流と仲間作りを目指して、ゴルフ大会やボウリング大会、グラウンドゴルフ大会を実施しました。また「お正月用の寄せ植え講習会」についても昨年度に引き続き実施しました。
- ・ミュージックベル活動も毎月2回定期的に開催しました。

(7) 独自事業活動の取り組み

- ・「端切れによる小物づくり」の得意な会員による、製作から販売という初めての独自事業に取り組みました。昨年10月末に大津市に於いて開催された「シルバーフェスティバル」と「愛荘おかげさま市」に出店して頂きました。今後もこうした会員の皆さんがお持ちの得意技を活かした事業を、積極的に取り組んでいくこととします。
- ・町内を花一杯にする「街中ガーデニング」の一環として、ポケットパークの一角を花壇にする取り組みも進めてきました。

(8) 講習会の開催

- ・デジタル化が叫ばれる昨今、パソコン教室については毎月第2・第4水曜日に開催しました。今後はスマホ講習会等についても検討していくこととします。
- ・近年多発する自然災害へ対応するために、「考える防災セミナー」を大阪ガスとタイアップして開催し、ライフラインが途絶えた時の暮らし方や、災害時に役立つ紙食器づくり、火を使わないパスタづくり等を体験して頂きました。
- ・コロナの影響で中止していました「人権研修会」と「交通安全講習会」を3年ぶりに開催しました。人権研修会においては、改めて基本的人権について学習するとともに、交通安全講習については、交通事故防止に向けた取り組みや、特殊詐欺の被害に遭わないための対応策について学びました。